

郷州小向け 縄跳び台を 新しく製作



2023. 1. 10(火)

2021年4月に製作した縄跳び台が経年劣化により機能低下が著しく、中にはコンパネ板が折れて使えないものもあり、まちづくり協議会の予算で、ものずき会の力により新しく6台を製作しました。

ものずき会のリーダーである西村さんが縄跳び台に必要なコンパネ板、角材、防腐剤、ボルト、ナットや組立て加工の事前準備をして製作にとりかかりましたが、当日は強風で校庭の砂が舞い上がり、砂が目に入ったり、コンパネ板が風で煽られたりして作業を進めるには最悪のコンディションでした。

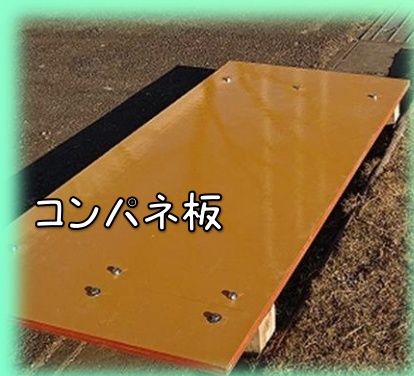
それでも、5人の作業者は日没近くまで頑張って作り上げました。岩瀬校長先生も心配して、顔を出してくれました。「生徒達は、この縄跳び台で縄跳びが上手になるんです」と。うれしそうに語ってくれました。

縄跳び台の歴史

- ・ 2015年、中村校長先生のとき初めて製作。
- ・ 2017年、笹本校長先生のときに2015年に製作したものが老朽化したため新しく製作。
- ・ 2018年、広瀬校長先生のときに反発が無くなったコンパネ板を修理。
- ・ 2021年、岩瀬校長先生のときに、2017年に製作したものが老朽化したため新しく製作。
- ・ 2023年、同じく岩瀬校長先生のときに、2021年に製作したものが老朽化したため新しく6台を製作。



完成した
6台の縄跳び台



コンパネ板

製作はコンパネ板を2枚使用してボンドで貼り付けてボルトで結合して作りました

*コンパネ板は価格が安く、重ねて使用すると強度が増し、荷重に対しても反発してくれて耐水性にも強い合板。



老朽化した縄跳び台



コンパネ板の裏にボンドをつけて、2枚を貼り付ける作業



コンパネ板を固定する足の寸法切り



土台の足に下穴をあける



土台の足の下穴をガイドとして
コンパネにも穴をあけて、その穴
にボルトを通して固定



同時に老朽化した縄跳び台
の解体をする

できあがった縄跳び台にさっそく、 嬉しそうにジャンプする生徒！



低学年は上に乗って喜んでいます



3～4年生は上手に跳んでいました



全ての縄跳び台が利用されました



高学年も弾んでいます

ものずき会メンバー

ものずき会とは

名の通り、人の役に立つこと
ならなんでも楽しんで行動に
移してしまう会です。
例えば、こども会の映画会を
開催したり、小学校の備品等の
修理。1月14日の新年を祝う
会では、音響のすべてを担当
します。

